

2023年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2022年8月12日

リミックスポイントは規制緩和や法令改正など
社会が変化するタイミングで生じる課題を事業を通じて解決する企業です



エネルギー事業



金融関連事業

remixpoint

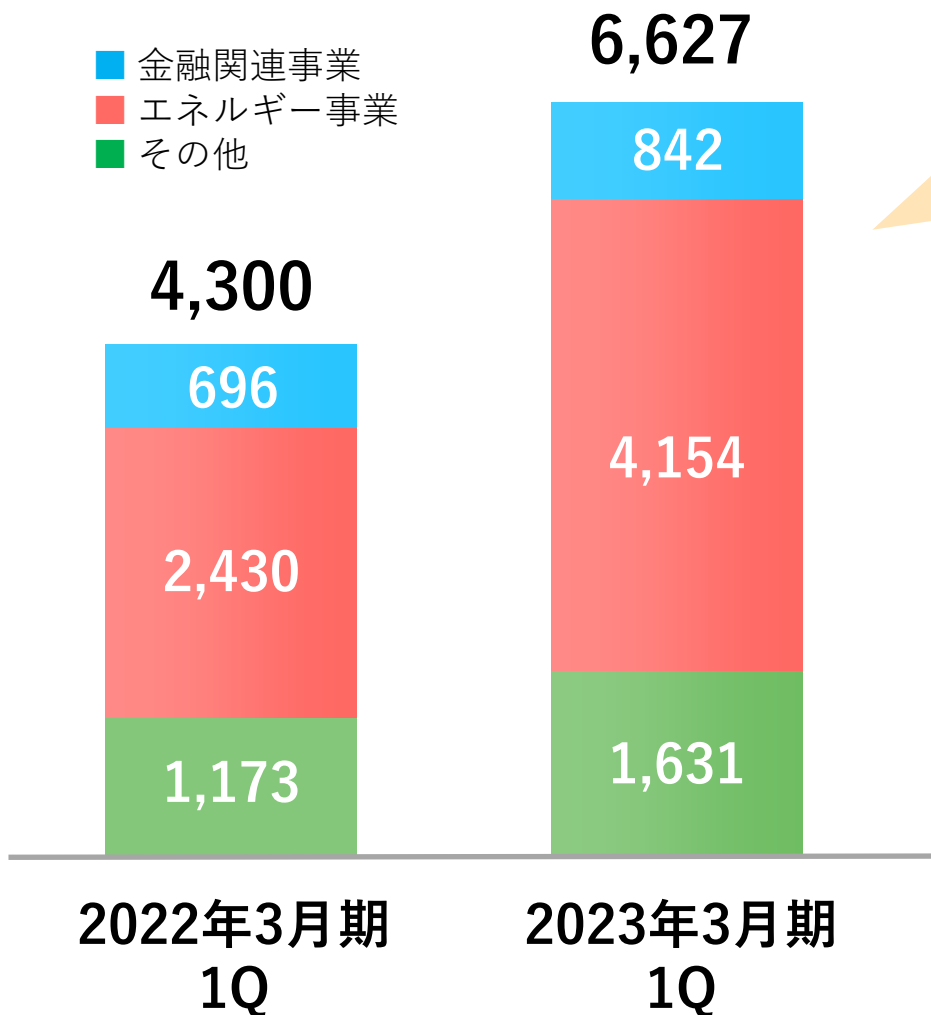


その他事業

2023年3月期 第1四半期 業績概要

(百万円)

- 金融関連事業
- エネルギー事業
- その他



全セグメントにおいて 増収

Topics

■ 金融関連事業

前年に比べ、暗号資産市場が低迷する中においても、顧客へのサービス拡充を図ることにより、売上が増加

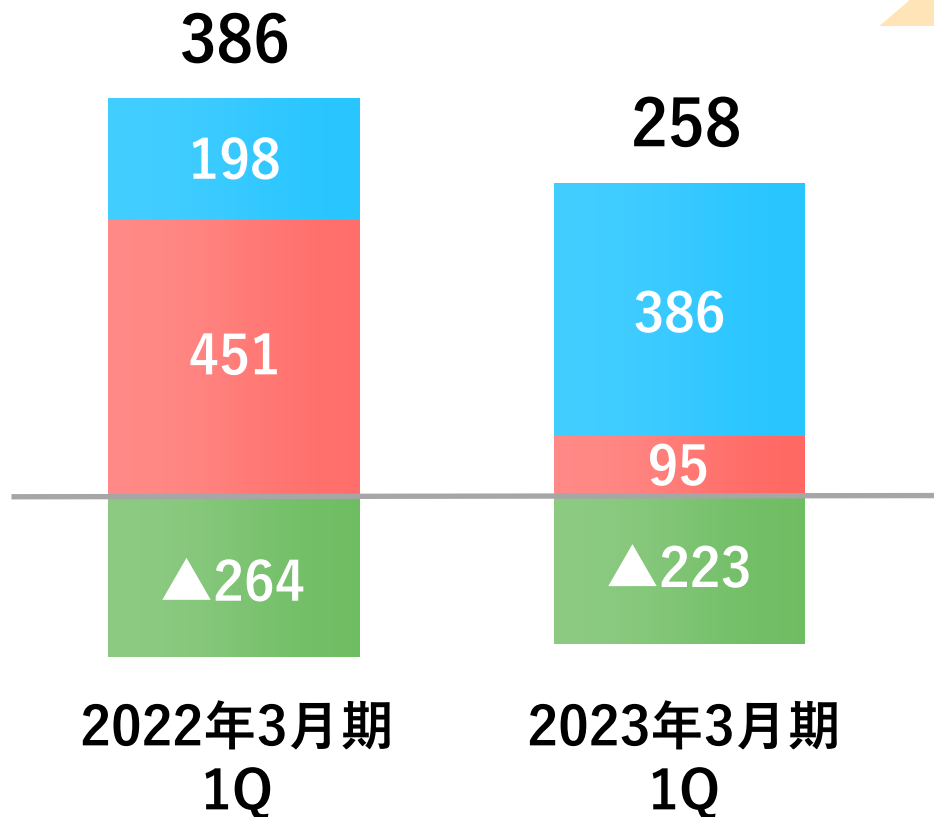
■ エネルギー事業

高圧需要家に関しては容量市場を見越して需要コントロールを行いながらも、電源調達の可能な範囲内で低圧需要家の獲得に注力し、電力供給先を伸ばした。また、6月下旬の季節外れの猛暑の影響でJEPXにおける電力取引価格が上昇し、売上が伸長

※「その他」には、自動車事業、レジリエンス事業、その他の事業が含まれております。

(百万円)

- 金融関連事業
- エネルギー事業
- その他



市場の影響を受けながらも、
金融関連事業・エネルギー事業
において引き続き

黒字化達成

Topics

■ 金融関連事業

売上の増加と業務効率化によるコスト削減により、前年同期比で大幅な増益となった

■ エネルギー事業

6月下旬のJEPXにおける電力取引価格の高騰により、ヘッジ目的で有していた電力先物取引証拠金の実現益および評価益があったものの、原価の増加を完全に吸収することが出来なかった。今回の電力の高騰分は、翌月（7月）以降に需要家から回収

※「その他」には、自動車事業、レジリエンス事業、その他の事業、全社経費が含まれております。

四半期毎損益計算書推移

(百万円)

| | | 2022年3月期 | | | | 2023年3月期 |
|----------------------|----------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|
| | | 4~6月 (1Q) | 7~9月 (2Q) | 10~12月 (3Q) | 1~3月 (4Q) | 4~6月 (1Q) |
| 売上高 | 合計 | 4,300 | 6,193 | 9,909 | 8,350 | 6,627 |
| | エネルギー事業 | 2,430 | 3,691 | 3,234 | 3,316 | 4,154 |
| | 金融関連事業 | 696 | 1,309 | 5,351 | 3,409 | 842 |
| | その他 | 1,173 | 1,191 | 1,323 | 1,624 | 1,631 |
| 経常 損益 | 合計 | 386 | 802 | 3,992 | 2,991 | 258 |
| | エネルギー事業 | 451 | 268 | ▲211 | 1,162 | 95 |
| | 金融関連事業 | 198 | 830 | 4,383 | 2,180 | 386 |
| | その他 | ▲55 | ▲76 | 12 | ▲88 | ▲4 |
| | セグメント調整額 | ▲208 | ▲220 | ▲191 | ▲263 | ▲219 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | | 342 | 630 | 3,171 | 2,769 | 80 |

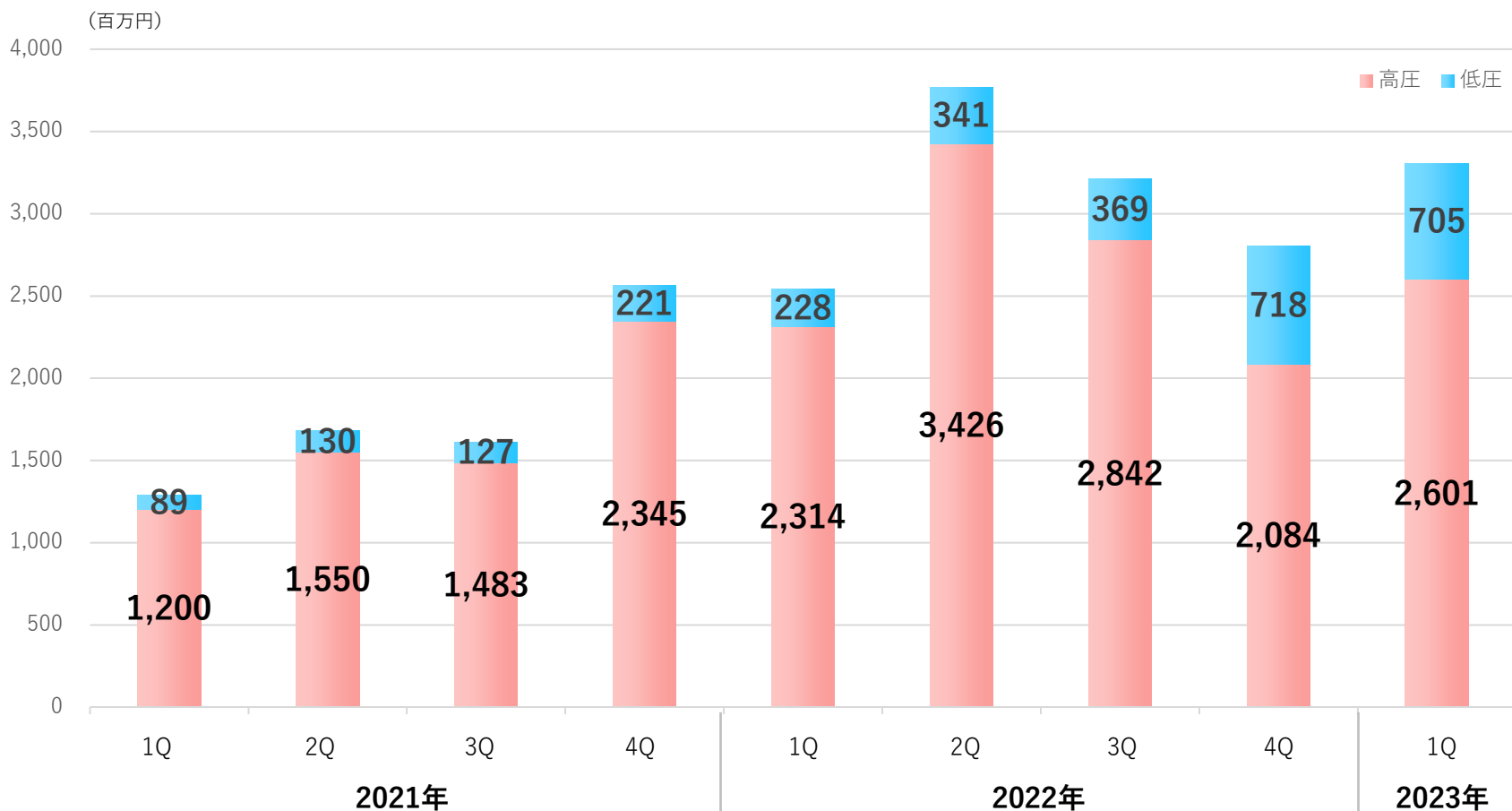
※「その他」には、自動車事業、レジリエンス事業、その他の事業が含まれております。

2023年3月期 第1四半期 主な事業別トピックス



対前年同期比で電力小売事業の売上高は増加
顧客ポートフォリオ再編の結果、低圧の売上比率は21.3%まで増加

高圧需要家・低圧需要家別の売上推移



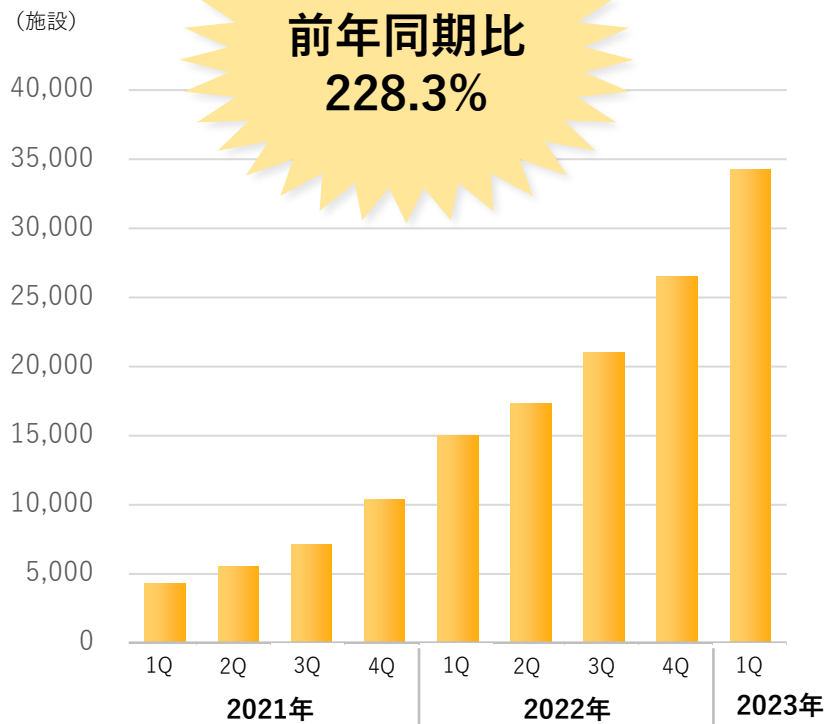


低圧市場本格参入後、低圧需要家の契約口数は**34,000口超**となり、順調に伸長

低圧需要家獲得状況推移

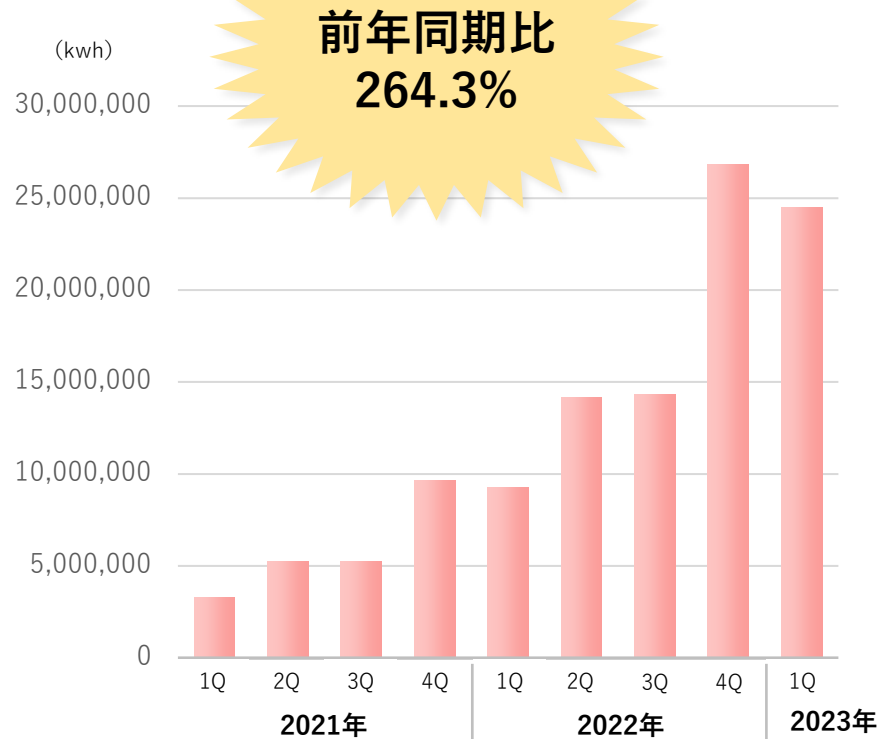
■ 契約口数

(施設)



■ 使用電力量

(kwh)

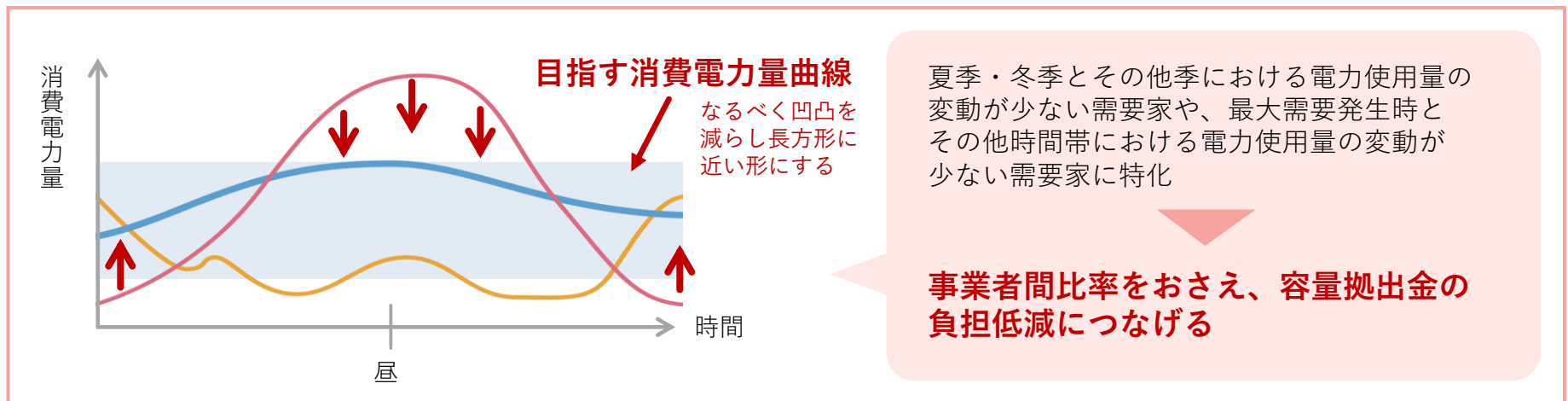
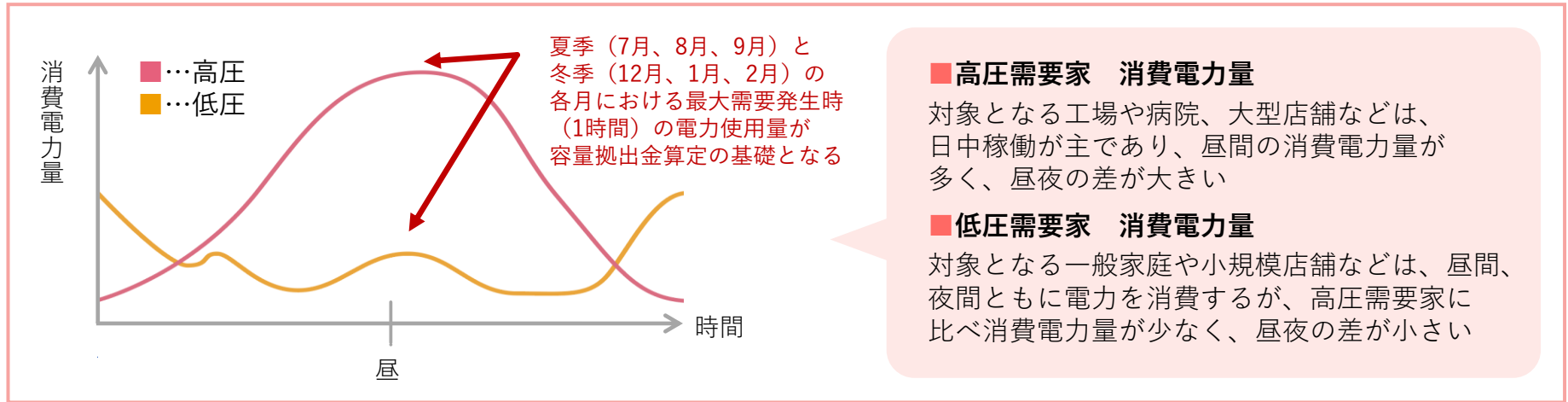


※2022年3月期1Qとの比較

※現在は低圧需要家向けプランの新規申込を一時停止しております。第3四半期より低圧需要家向け市場価格連動型プランによる新規受付を再開予定



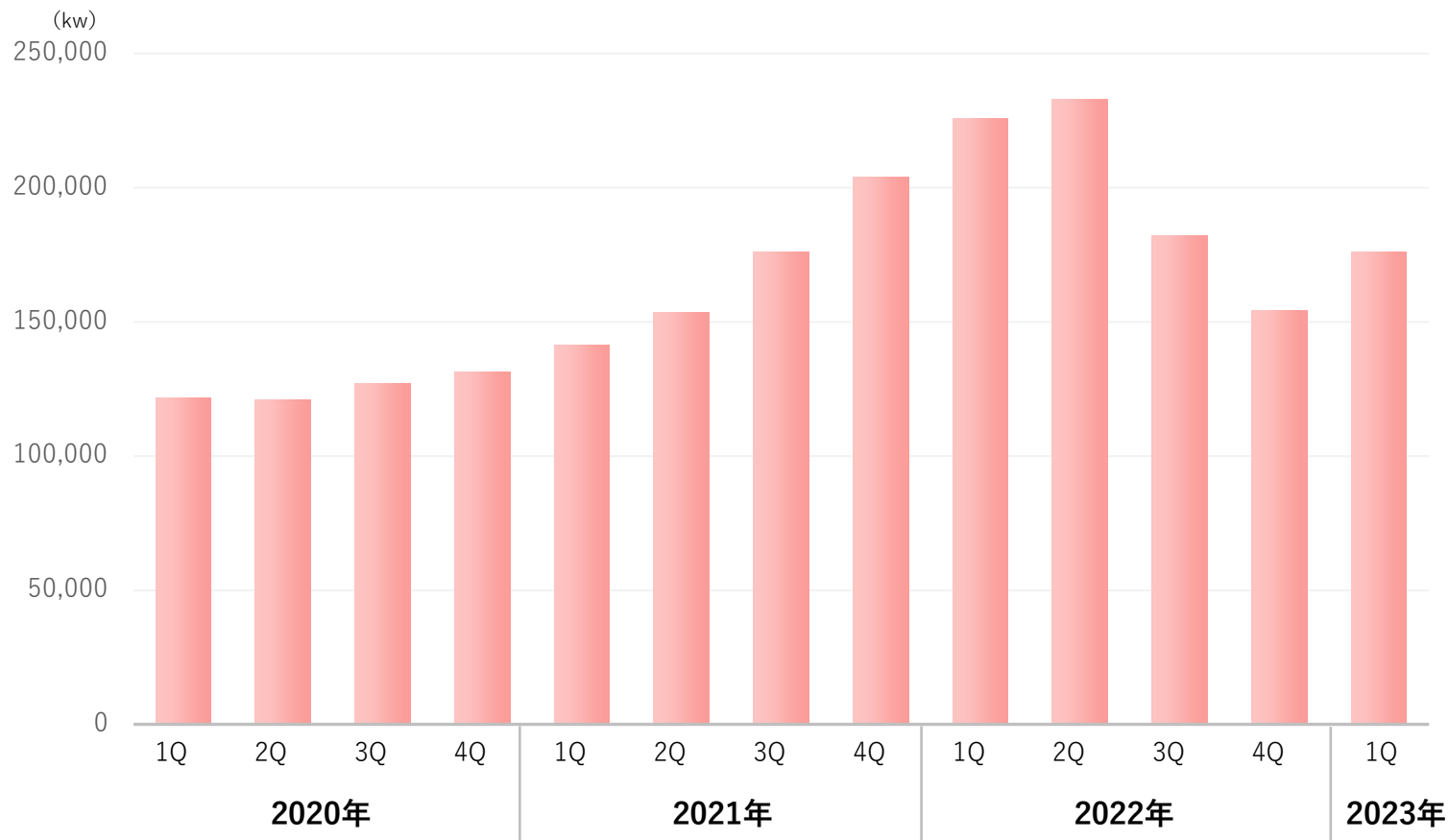
最大需給量を基に容量市場負担金が決定する容量市場への備えを推進





高圧については容量市場への対応のため、顧客ポートフォリオの再編を推進

高圧需要家の契約総容量推移

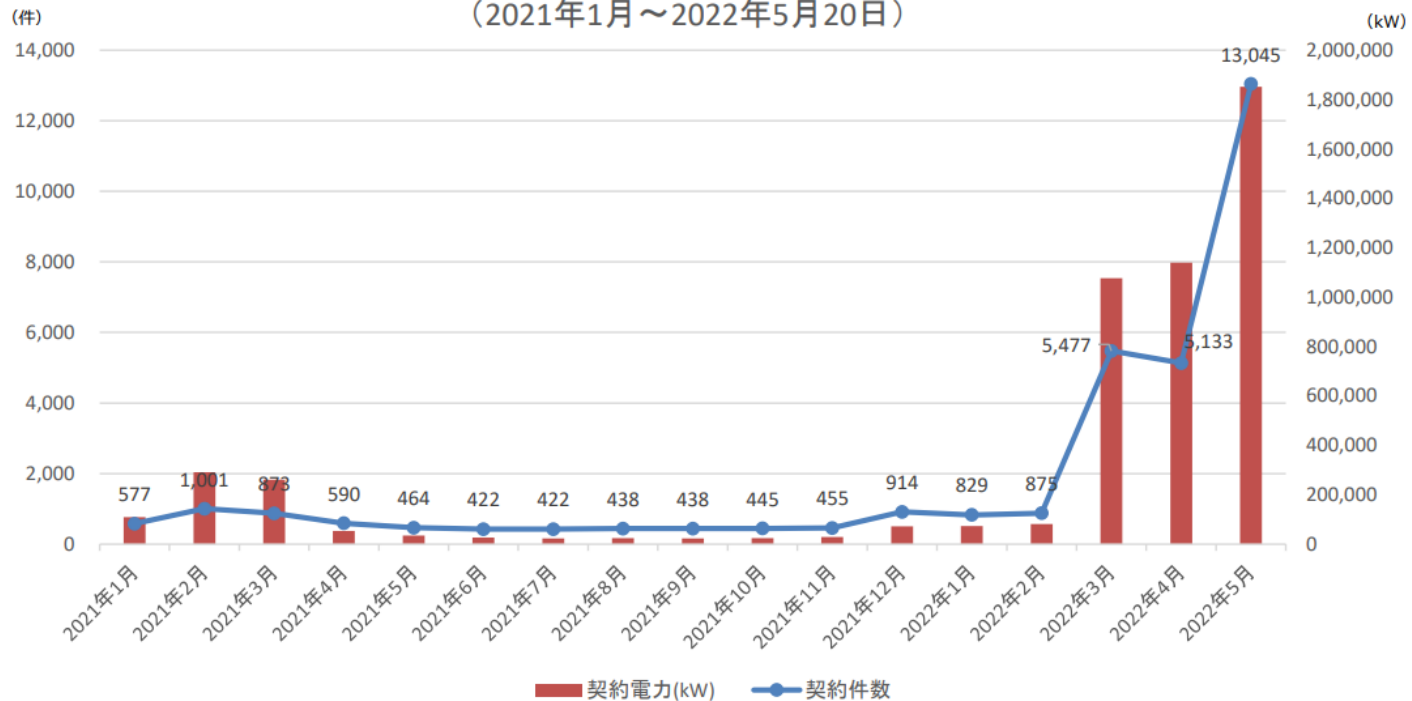




電力マーケットの現状について

エネルギー価格の上昇により、多くの電力会社が高圧・特高の新規受付を停止
 本年5月に13,000件を超える需要家が、電力会社が見つからない需要家向けに
 一般送配電事業者が一時的に電力供給を行う「最終保障契約」を受ける事態となった

最終保障供給の契約電力及び件数
 (2021年1月～2022年5月20日)



出典：電力・ガス取引監視等委員会「第73回制度設計専門会合」配布資料7「最終保障供給料金の在り方について」p.7



最終保障供給契約を締結する法人に対し、電力卸市場価格に連動した市場価格連動型プラン「JEPXスタンダードプラン」の提供を一部、試験的に開始

市場価格連動型プランとは

- JEPXの取引価額に連動して電気料金の単価が定まる
- 夏季・冬季などの電力需要が高まる時期は、市場価格高騰の影響を受ける可能性もあるが、時期や時間帯によっては一般的な電気料金よりも単価が安い
- 当社は市場価格に左右されず、一定収益を獲得することが可能になる

■ JEPXスタンダードプラン 7月申込実績

申込実績：**51** 件 合計約 **7,000** kw

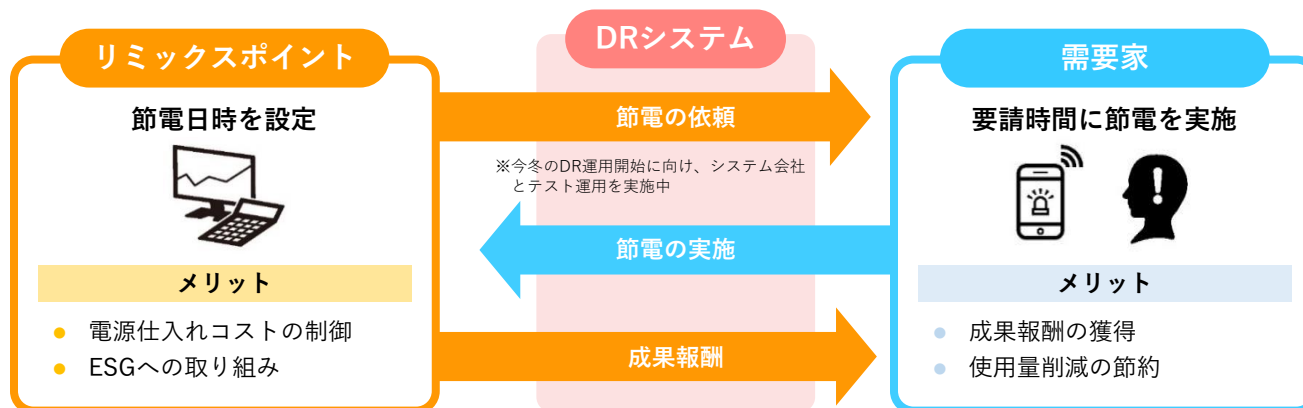
※内訳 東京電力：20件 4,500kw、関西電力：11件 800kw、その他地域電力：20件 1,700kw

2022年9月にJEPXスタンダードプランの申込を正式に受付開始



当社におけるDR（デマンドレスポンス）対応について

- デマンドレスポンス（電力使用の要請）を用い、電気を使ってほしい・使ってほしくない時間をユーザーに的確にシステム経由で伝え、行動を促す
- 需要家が要請に応じて節電に協力いただけた場合、インセンティブを提供することで、節電効果を高めることが可能
- 政府から節電ポイント制度について発表がされ、社会的にDRを利用しての節電に関心が高まっている



- 行動変容型のDRサービスを実施し、特定の時間帯の消費電力量を削減できる
- スポット市場高騰時の調達量削減や不足インバランスの発生抑止につながる
- 需要量のピーク時間を予測し、特定時間帯の需要量および容量拠出金の負担額を軽減できる可能性がある



2022年度以降、再エネ発電所の開発を予定

電力調達価格上昇を機に、自社での再エネ発電所開発を本格検討中。
参入余地、収益性の観点から野立て太陽光以外にも、様々なタイプの発電所を開発予定

小水力発電



水上太陽光発電



風力発電



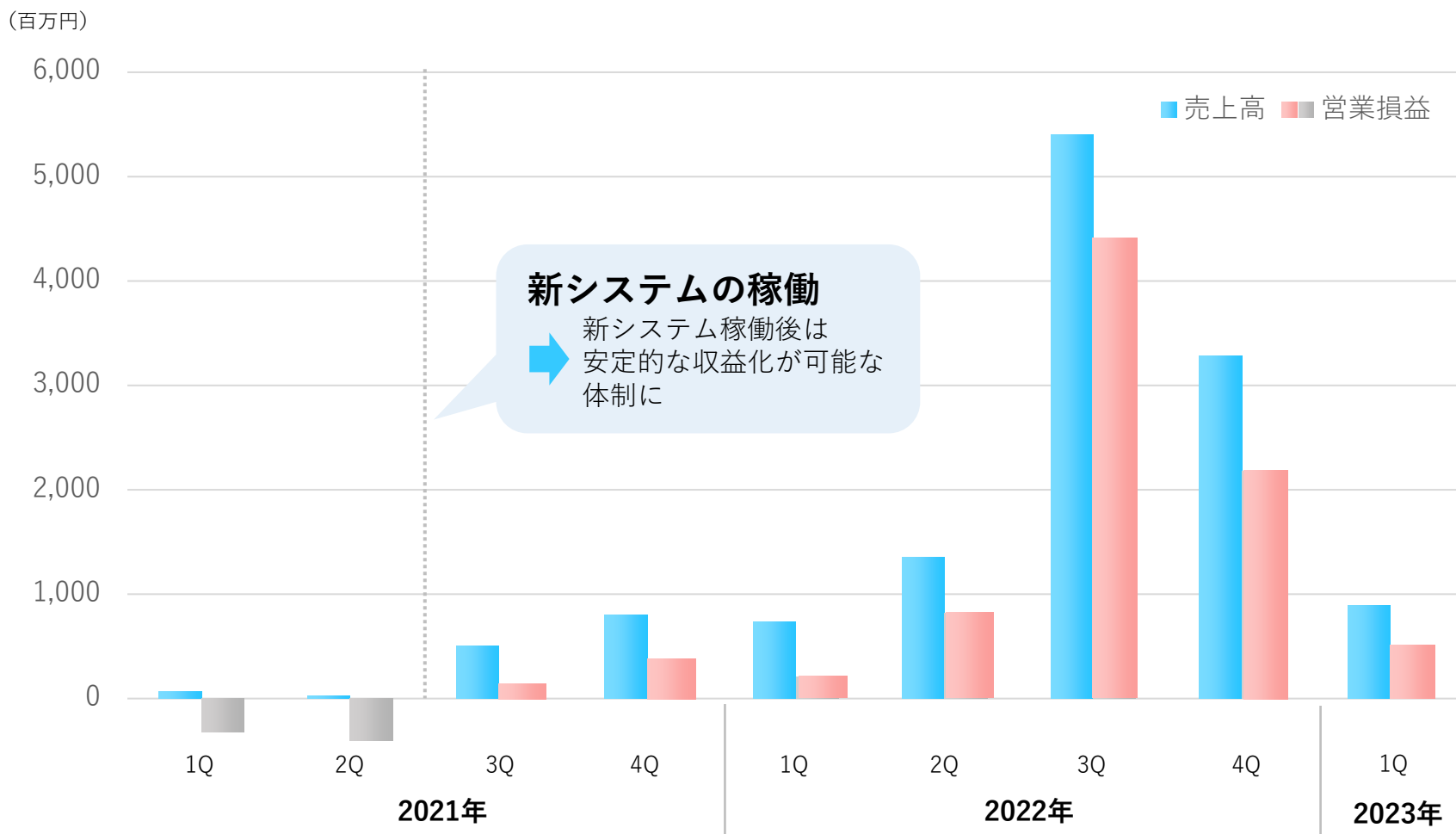
バイオマス発電



発電した電力はリミックスでんき需要家様への販売とFIT売電を予定。
脱炭素社会実現に貢献できる環境価値付き電力を生み出していく。



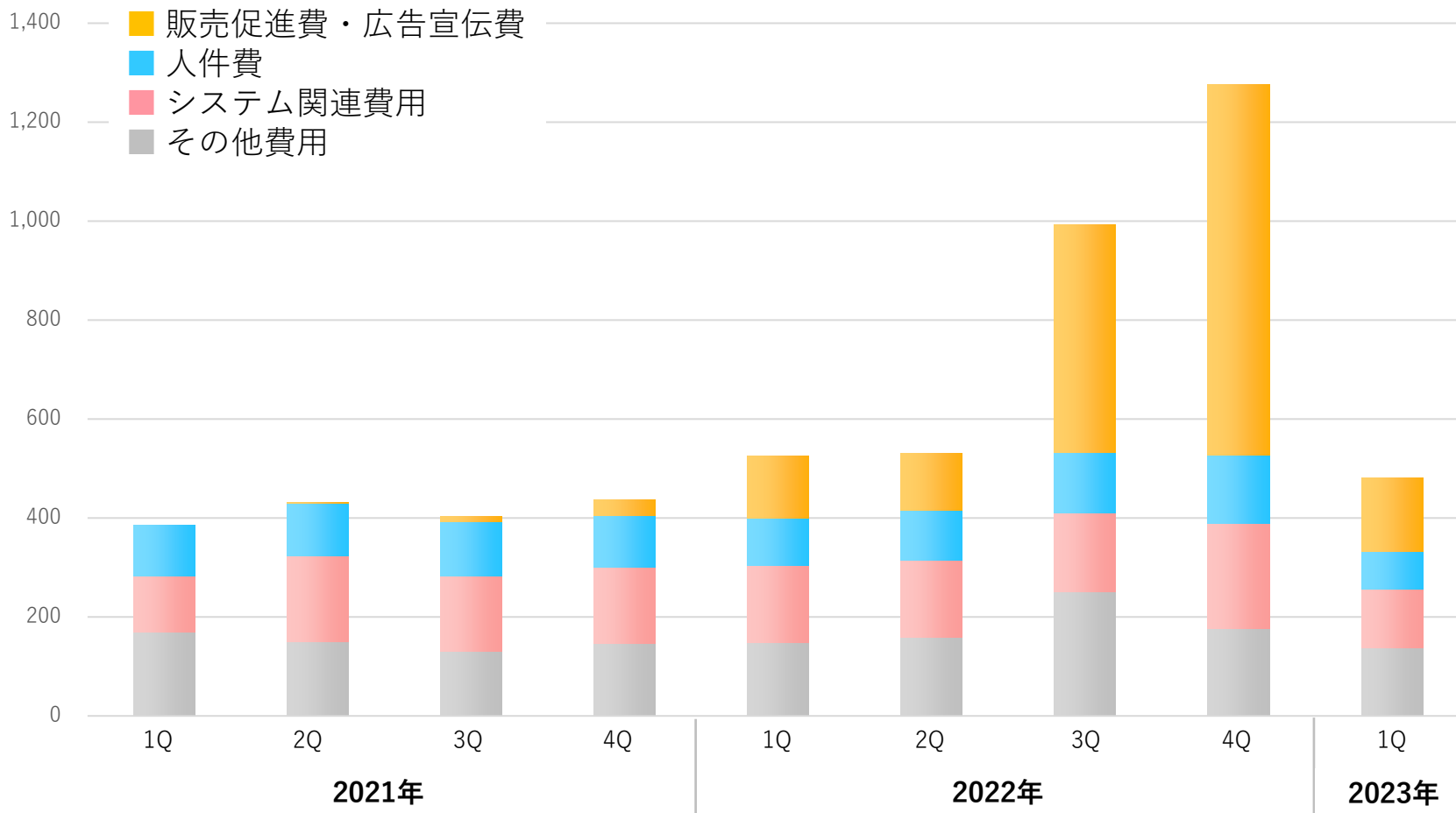
新システム稼働後、マーケットの影響はありつつも、毎四半期において営業損益の黒字を維持





マーケットの状況を鑑み、コストコントロールを行いながら販促活動を実施

(百万円)

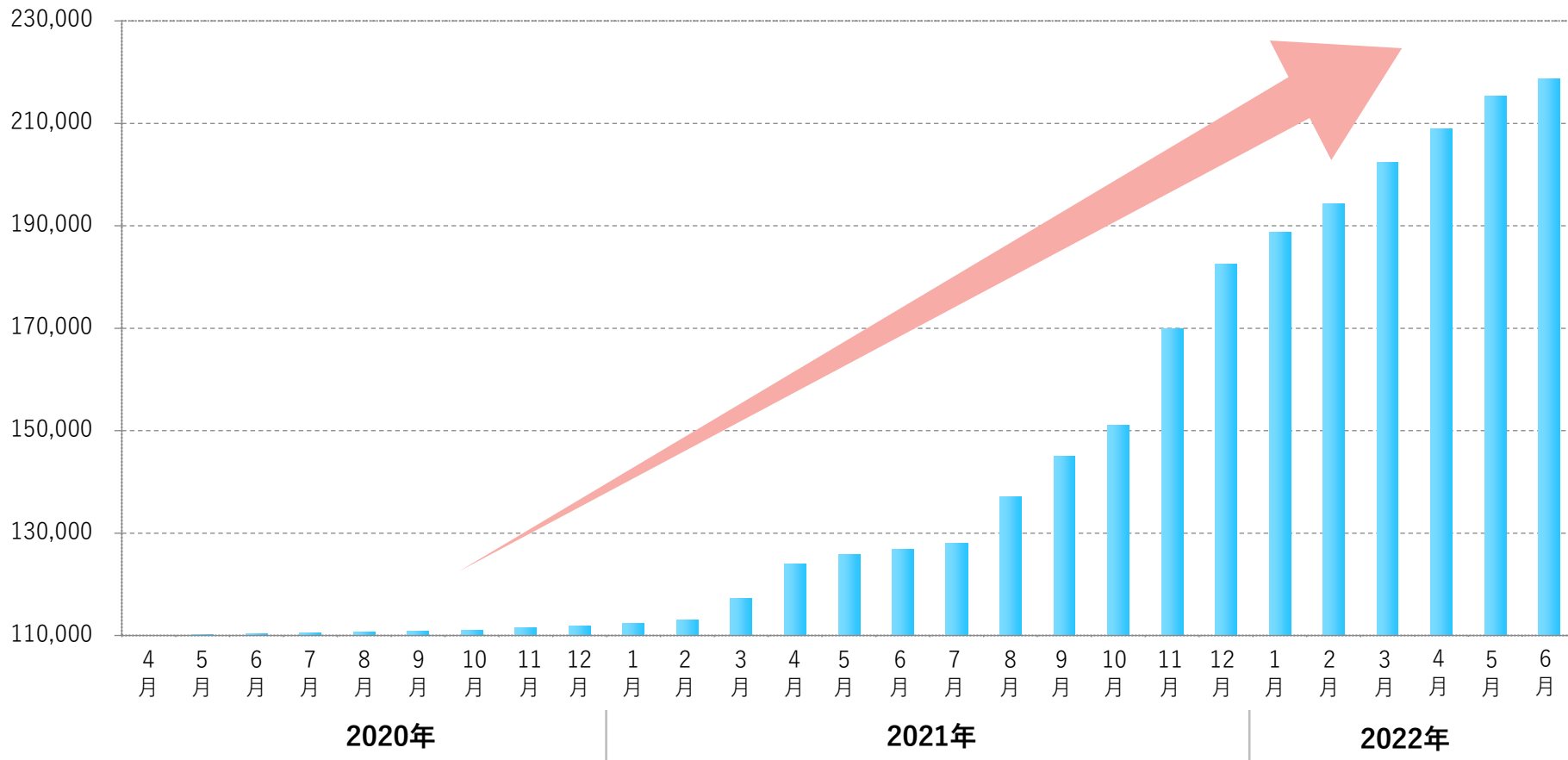




マーケットの影響を受けながらも口座数は通増

口座数の推移

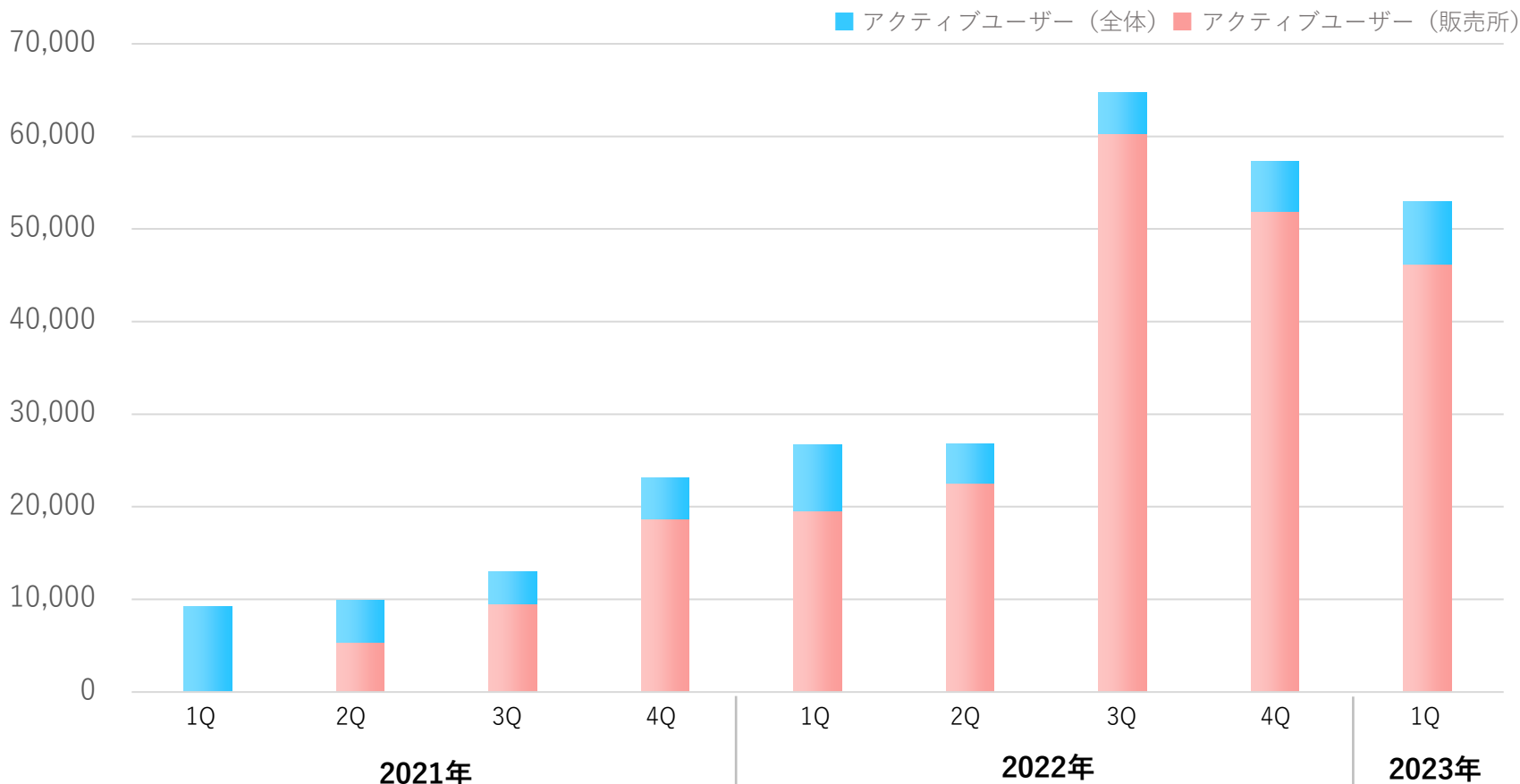
(単位：件)





市況は悪化しているものの、アクティブユーザー数は高水準を維持

アクティブユーザー数の推移



日本初！！新たに暗号資産KLAY（クレイ）の取扱いを開始

日本初



KLAY

クレイ

※詳細につきましては、8月4日付「[日本初！ビットポイントジャパン「KLAY（クレイ）」取扱い開始](#)」をご参照ください。

暗号資産交換所「ビットポイント」に上場している通貨一覧



ビットコイン
(BTC)



アイオーエスティー
(IOST)



リップル
(XRP)



チェーンリンク
(LNK)



ベーシック
アテンショントークン
(BAT)



イーサリアム
(ETH)



ポルカドット
(DOT)



ライトコイン
(LTC)



ビットコイン
キャッシュ
(BCH)

日本初



クレイ
(KLAY)

※2022年8月4日取扱開始



ジャスミー
(JMY)



ディープコイン
(DEP)



エイダ (ADA)



ترون (TRX)

※2022年8月12日時点における暗号資産交換所「ビットポイント」に上場している通貨一覧となります。



レジリエンス事業とエネルギー事業のシナジーを活かしたスキームを提案

remixbattery

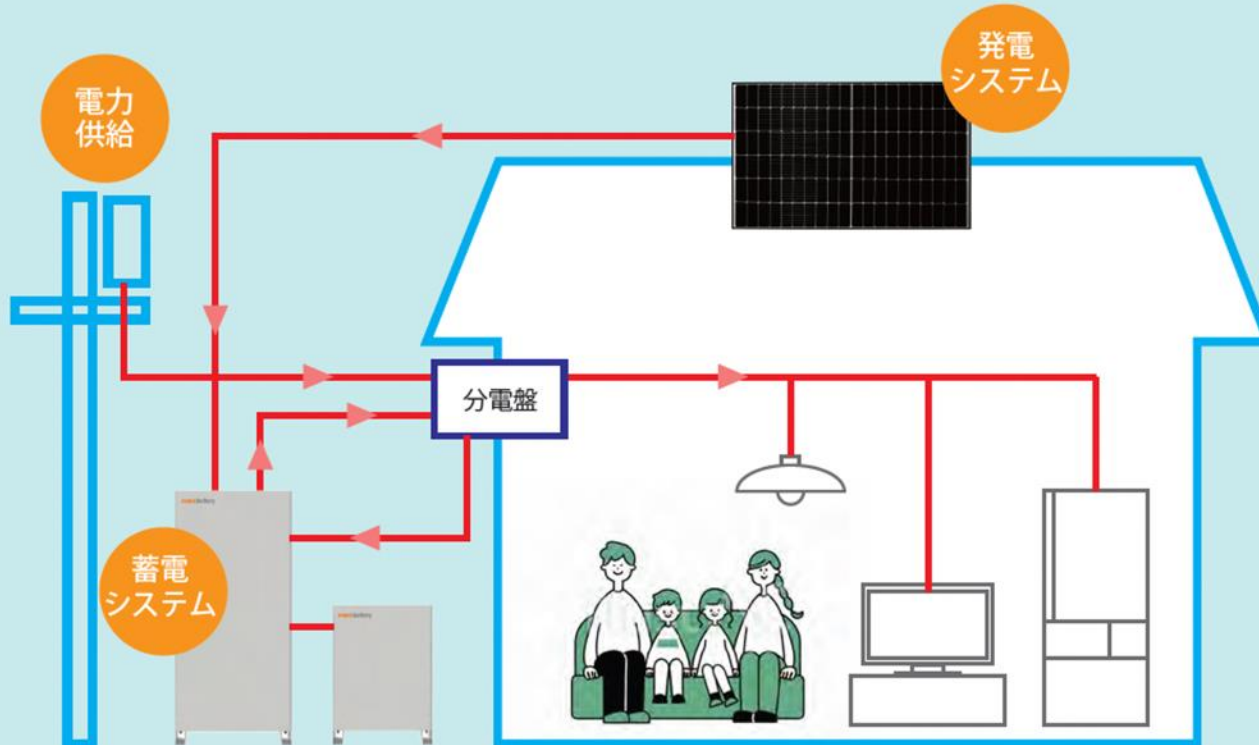
高性能・低価格なハイブリッド蓄電システムです。発電した電気を効率的に自家消費し、非常時にも安心な蓄電システムです。

SUNTECH

高出力で信頼性の高いセルを使用した太陽電池モジュールを開発。高効率な発電システムを安心の長期保証と共にお届けします。

リミックスでんき

実績豊富で安定基盤を持つリミックスでんきが、All in One パッケージに最適でお得なプランで電気をお届けします。





自動車事業

高級外車を中心とした中古車のBtoB事業を展開



省エネコンサルティング事業

■ 補助金支援実績

累計採択件数：**569**件（平成25年度補正予算～現在）

※令和4年度実績 採択件数：**27**件（2022年6月30日時点における実績）

■ 登録等

- ・エネマネ事業者（令和4年度登録 ※平成26年度から9年連続登録）
- ・ZEBプランナー（ZEB30P-00019-C）
- ・脱炭素化促進計画策定支援事業支援機関（2022年度認定）



SBIグループと包括的資本業務提携を締結
ビットポイントジャパン株式の譲渡代金は2022年7月1日付で入金済



- ① 本資料に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手している情報による判断・評価・仮定に基づいております。
その判断・評価・仮定に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の状況変化等により、実際に生じる結果が予測内容等とは実質的に異なる可能性があります。当社グループは、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
- ② 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社グループにより何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ③ 目的を問わず、本資料を無断で引用又は複製することを禁じます。